

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	東部地域ふれあいセンター管理						継続					
コード	24	-	18	-	06	-	00	予算事業名	東部地域ふれあいセンター管理			
担当部署	市民部	市民活動支援課	協働推進担当	予算事業コード	会計	10	款	02	項	01	目	11

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)			位置付けなしの場合	法令による実施義務	義務ではない
基本目標(章)	6章	人と人のつながりを感じ、安全で安心して暮らせるまち	実施計画事業名	東部地域ふれあいセンター管理	
方向性(節)	1節	ふれあいと思いやりのある地域社会の形成	個別計画等の名称	なし	
施策	1	地域コミュニティ活動の推進	当事業に関連する事務事業	なし	
細施策	3	コミュニティ施設の充実			
事業実施の根拠となる法令・条例等	川越市地域ふれあいセンター条例				

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	市民に文化活動及び学習の場を提供することにより市民の相互交流を図り、もって市民の文化の向上及び豊かな地域社会づくりに資するため、川越市地域ふれあいセンターを設置する。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	指定管理者による管理によって、ホール、会議室等の貸し出し業務を行う。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額	20,800	20,147	19,529	19,460	19,560	
(25年度予算額大幅増/減の理由)						
事業費 A	19,514	18,903	18,853	18,688	19,560	20,999
人件費 B	954	954	954	954	954	954
総コスト(C=A+B)	20,468	19,857	19,807	19,642	20,514	21,953
正規職員(1年間の従事人数)	0.13人	0.13人	0.13人	0.13人	0.13人	0.13人
臨時職員(1年間の従事人数)						
国県支出金 D						
その他特定財源 E	2,292	2,640	2,704	2,992	2,710	2,710
市の財政負担(=C-D-E)	18,176	17,217	17,103	16,650	17,804	19,243

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
活動 施設年間利用件数	件	1,947	2,214	2,361	2,568	2,630	2,760
指標の定義・説明	東部地域ふれあいセンターの年間の利用件数						
活動 施設年間利用者数	人	35,127	39,717	41,577	38,216	39,450	41,400
指標の定義・説明	東部地域ふれあいセンターの年間の利用者数						
指標の定義・説明							
指標の定義・説明							

指標に基づく評価 平成24年度の東部地域ふれあいセンターの年間利用件数は2568件でその部屋の平均稼働率は55.6%である。平均の稼働率を57%までポイントを延ばし最終目標を60%まで設定し、地域、並びに市民に密着した施設としたい。

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	有効性に課題	公平性に課題	
利用者の利便性とサービス向上を目的に平成25年度より使用料を利用施設の窓口でも納付を可能にした。 今後、課題としては、地域に密着した施設となっているが、更なる利用の増加を目指し、地域外からの利用をいかに増やせるか課題であると考えている。それに伴い施設管理の事務が増えると考えられるので職員の資質向上を図る必要がある。			
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)			
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	東部地域ふれあいセンターの管理を地域に密着した指定管理者行うことにより、地域の課題を的確に拾い出し、早急に反映しているが、市直営で行うと地域との密着度が薄れ、素早い対応がしづらくなる可能性がある。		

平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		市民部				市民活動支援課	協働推進担当
事務事業名称		24	18	06	00	東部地域ふれあいセンター管理	
今後3年間の方向性	25年度	継続					
	26年度	継続					
	27年度	継続					